

■第2回倉敷の都市景観の未来を創る新しい枠組を考えるシンポジウム
～HUL (HISTORIC URBAN LANDSCAPE・歴史的都市環境・景観) 連続シンポジウム～

日時：2021年2月21日(日) 14:00～16:00

会場：ZOOMによるオンライン

参加費：無料(※参加を申し込まれた方には当日までに配信URLをお知らせします。)

主催：HUL連続シンポジウム実行委員会

問合せ・申込み：氏名、所属、役職、メールアドレス、電話番号を明記の上、下記アドレスまでE-mailにてお申込みください。(締切は2020/2/18)

E-mail green@mx1.kct.ne.jp (前回と申し込みアドレスが違います)

・事務局：NPO法人倉敷町家トラスト 080-5232-6462 (担当・中村)

.....
【プログラム】

▼各都市からの報告

倉敷市：中村泰典 (NPO法人倉敷町家トラスト代表理事)

八女市：北島力 (NPO法人まちづくりネット八女理事長)

川越市：荒牧澄多 (NPO法人川越蔵の会・NPO法人全国町並み保存連盟常任理事)

▼ディスカッション

コメンテーター：福川裕一 (千葉大学名誉教授・NPO法人全国町並み保存連盟理事長)

モデレーター：成清仁士 (ノートルダム清心女子大学准教授)

第1回はHUL勧告に至る歴史的経緯と世界の状況、HULの概要などを福川裕一氏の基調講演から学んだ。(第1回HUL資料はこちら→<https://www.machinami.org>)

第2回は、HULの勧告から10年経過した日本で自治体は勧告をどのように受け止め、政策的に反映しているか、保存活動団体はどのような活動をすすめ、いかなる課題直面しているかを報告してもらい、参加者と今後の政策、枠組みをどのように作り育てていくかを考える。

【報告者】

*倉敷市：中村泰典 (NPO法人倉敷町家トラスト代表理事)

1951年倉敷市生まれ。環境活動から市民活動に広くかかわり、2006年NPO法人倉敷町家トラスト設立、同年倉敷伝建地区をまもり育てる会設立、町並み保存の立場から持続可能な地域のありようを提言、事業を実施。倉敷町家トラストは2010年都市景観大賞、2011年地域再生大賞準大賞、2013年ユネスコ未来遺産登録。

*八女市：北島力 (NPO法人まちづくりネット八女理事長)

1952年八女市生まれ。1992年八女市企画課にて八女福島の町並み保存を担当、2000年地元建築集団「NPO八女町並みデザイン研究会」発足、2002年国の「重要伝統的建造物群保存地区」選定、2003年空き家再生活用の専門集団「NPO八女町家再生応援団」発足、2012年に定年退職後にドキュメンタリー映画「まちや紳士録」の全国上映活動、2016年八女福島の町家に移住。

*川越市：荒牧澄多 (NPO法人川越蔵の会)

1956年川越市生まれ。東京都立大学大学院修了後、川越市役所入庁。営繕、再開発、文化財保護、都市景観などの部門を経て川越市立博物館を最後に退職。この間、伝統的建造物群保存地区、景観計画などに携わる。これまで、公私ともに様々な形で川越の町並み保存に関わってきた。NPO法人全国町並み保存連盟常任理事

【コメンテーター】

*福川裕一 (千葉大学名誉教授・全国町並み保存連盟理事長。クリエイティブタウン推進機構理事長)

専門は都市計画・都市デザイン、特に歴史的環境の保全、中心市街地再生。川越、佐原、長浜、高松丸亀町、小諸、石巻などのまちづくりにかかわる。1998年都市住宅学会賞(論説賞)、2000年日本建築学会賞(ホイアン町並み保存プロジェクト)、日本都市計画学会賞・石川賞(ぼくたちのまちづくり・岩波書店の絵本シリーズ)。著書に、『くまちなか』から始まる地方創生(クリエイティブタウンの実践と論理)』(岩波書店)、ほか多数。

【モデレーター】

*成清仁士(なりきよひとし) (ノートルダム清心女子大学 人間生活学部人間生活学科 准教授)

1980年岡山生まれ。鳥取市中心市街地活性化協議会タウンマネージャー、鳥取大学地域価値創造研究教育機構地域連携PBL推進室長准教授等を経て、2020年4月より現職。倉敷で2010年よりkurashikimapsプロジェクトを展開、『倉敷おさんぽマップ』等を制作。